

## 農産品

### 米



土づくりに早くから注目。農業と化学肥料を慣行の半以下に減らした特別栽培や天日乾燥、土壌改良材“ワーコム”の活用等こだわりの栽培方法から生まれた「つや姫」「はえぬき」「あきたこまち」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」「雪若丸」等。

### ねぎ



ねぎづくりは土づくりと言われ、町内産の堆肥を長年使ってきた成果として、葉には光沢、葉鞘にはハリ、柔らかさ、甘みがあるのが特長。近年栽培者も増え、県内有数の生産地に成長している。

### にら



5月から10月まで切れ目なく長期間にわたり収穫できる園芸作物として、近年急激に栽培面積が拡大している。甘みをたっぷりと含んだ柔らかい歯ごたえが特長で、市場でも高い評価を得る。生産量・額ともに県内トップレベル。

### たらの芽



出稼解消を目的とした冬期間農業としての先駆け。早い秋冷が誘う十分な休眠、秋から冬にかけて適湿な気候などが良好な品質の支えとなり主産地として評価されている。

### うるい



### 雪うるい



軽い歯ごたえとぬめりが特長。西洋野菜に近い位置付けを獲得し、近年人気上昇中。白さと柔らかさを強調した「雪うるい」は、光を遮断しながら育成。生でも美味しく食べられるサラダ用野菜としても注目。

ここまでの6品目 もがみ中央農業協同組合 ☎0233-32-1511

### 極撰にしこおりわらび



長年の実践を通じ、粘りは土壌由来、太さは系統由来であることを発見。町内においても特にわらびの良産地とされる西郡地区の株を、こだわりの根づくり。天然を超える、極太で粘りの多い最高品質のわらびを増殖栽培している。

真室川きのこ本舗  
☎0233-62-4441

### 真室川りんご



約60年前より、寒さ厳しい真室川が実のしまった美味しいりんご栽培に適しているとして生産を開始。土地に合った品種を選び、安全安心なりんご生産を心がけている。

田中りんごや  
☎0233-65-2106

### 原木なめこ



全国トップクラスの生産量。先駆けとしての歴史、原木を確保し易い豊かな森林環境、栽培に適した気候条件などから真室川町は、“原木なめこのふるさと”と称されている。

最上広域森林組合  
☎0233-62-2102

### 原木奥山なめこ



天然なめこの発生する西郡地区の山中に原木を持ち込み植菌。収穫期には毎日通って収穫適期の肉厚の原木なめこを収穫。植菌から収穫までの全行程を行う確かな栽培技術で、安全で天然物に劣らないおいしいなめこを栽培している。

真室川きのこ本舗  
☎0233-62-4441

### 葉床とんび舞たけ



栽培きのこの多くは原木栽培が高品質とされる中、とんび舞たけだけは湿度を一定に保つ葉床栽培が高品質とされている。天然ものと比較しても柔らかく、真室川町では慶事には欠かせない食材として親しまれている。

真室川きのこ本舗  
☎0233-62-4441

### 原木舞茸



真室川の湿潤な環境を生かし、より天然に近い原木舞茸の栽培に成功。町内産ナラに自社植菌、じっくりと培養したほだ木を栽培地に伏せこんで秋口の自然発生を待ち収穫。期間限定の出荷となる。

真室川きのこ本舗  
☎0233-62-4441

### 甚五右エ門芋(じんごえもんいも)



町内大沢にある森の家の圃場でのみ栽培される食感柔らかな一子相伝の里芋。栽培期間中、農業と化学肥料の不使用を実践。近年、その美味しさと珍しさで知名度も注目度も上がっている。

森の家 ☎090-7795-2701

### あべの里芋



健康な里芋は健康な土づくりから。良質なたい肥と米ぬかを投入したこだわりの土壌で栽培。郷土食・芋の子汁の主役である里芋の中でも特に食味が良く、つるりとした肌と柔らかさが特徴の孫芋のみを手選別している。

あべ農場(株) ☎0233-29-8933

### アクセス



### 真室川の伝承野菜



真室川町の各所で長年守り伝えられてきた貴重な伝承野菜を後世の人々にも食べてもらえるように、真室川伝承野菜の会では現在6品目の種の伝承と栽培継続に取り組んでいます。

真室川伝承野菜の会  
☎090-3125-2500



キャッチコピー 「あがらしやれ 真室川」

「あがらしやれ」は、「家にお上がり下さい」「召しがって下さい」の2つの意味を持ち、当町に伝わる同名の民謡に由来するもてなしの気持ちを表現した言葉です。短いながらも、たくさんのイメージや意味を持たせられる広がりのあるこの言葉に、真室川の魅力を伝え広めていきたいという思いが込められています。



真室川という地域の魅力を分かりやすく伝えるための代表選手

## 真室川ブランド認定品

地域の魅力を具体的なカタチとして体現  
町のイメージアップを担う42の産品たち  
令和2年10月末現在

### 米 (つや姫、はえぬき)



楸近岡商店稲作研究会は、昭和47年から続く伝統ある会。稲作技術向上のため、現地指導会などを毎年実施し、こだわりの多木式農法を実践。美味しい真室川産米を生産し、全国の消費者から好評を得ている。

楸近岡商店  
☎0233-62-2348

シンボルマーク

穂やかにびく3本の帯は、真室川の山並みや風、川の流れを表現し、音符のような形からは、真室川音頭や童歌、番楽や囃子など暮らしの楽しみが連想されます。マーク全体を「まむろがわ」の頭文字「ま」でつなぎ、自然環境と調和した伝承文化や暮らし方から生み出される真室川の価値をアピールしています。